

カエルは両生類のなかま。しっぽのない無尾目で、目は頭の上にあるというちょっと不思議な生きもの。ヘルメットガエルやパキスタンヒキガエルなど世界のカエルから、アズマヒキガエルやトウキョウダルマガエルなどの日本のカエルまで。東京のカエルスポットやカエルの食餌の仕方なども載ってるよ。



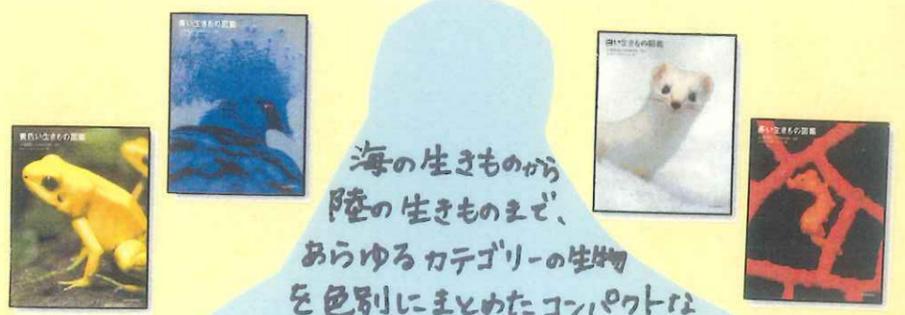
『ときめくカエル図鑑』
高山 ビッキ / 文
山と溪谷社

『モノレールねこ』
加納 朋子 / 著
文藝春秋



不細工で堀に登った姿がモノレールみたいなお猫“モノレールねこ”を通して文通をする二人の子ども。ちょっと切ないけれど、心温まる物語です。全8話の短編集となっていますが、ザリガニの目線で描かれている話『ビルタン最後の日』もオススメです!

『黄色い生きもの図鑑』 『青い生きもの図鑑』
『白い生きもの図鑑』 『赤い生きもの図鑑』
小宮 輝之 / 監修 河出書房新社



海の生きものから陸の生きものまで、あらゆるカテゴリーの生物を色別にまとめたコンパクトな図鑑です。どの本のどこからページをめくってもその美しさに目を奪われ、それぞれの解説もなるほどと思えることばかり。世界中の動物園を巡っているように楽しめ味わえます。

Y A 新聞

今回のテーマは“いきもの”です。いきもの女子きが大好きな高井戸図書館のスタッフが選んだ本を紹介します。

『おいで、一緒に行こう』
福島原発 20キロ圏内のペットレスキュー
森 絵都 / 著
文藝春秋



5年前、福島原発20キロ圏内の住人は、家族同然の動物たちを残して避難せねばならいませんでした。その動物たちを救おうと立入禁止区域に向かったボランティアの女学生たちがいます。レスキューの様子、保護された犬たちと家族の表情、預りボランティアの愛情と心の援けなどを丹念に描く著者の姿勢に女子感がもてます。

『もしもあの動物と暮らしたら!?』
小菅 正夫 / 著
新星出版社



コアラ、ゾウ、パンダ...。いきもの女子きが一度は夢みる動物園でしか見られないようないきものと暮らせるとしたら? 20種類以上の動物の特徴、食事、入手方法、価格、お家の準備などが紹介されています。ハードルは高そうですが、やっぱりいつかは...と夢がふくらむ楽しくてためになる本です。

地球には、さまざまな名前がいきものがいます。この本では、その中でも変わった名前のもを紹介しています。「オジサン」「ユメナマコ」「ハダカデバネズミ」「ゴリラ・ゴリラ・ゴリラ」などなど。なぜこの名がついたのかぜひ手に取って確かめてみてください。



『誰かに話したくなる 珍名いきもの124』
北嶋 廣敏 / 編著
世界文化社